

平成 20 年度事業計画

目 次

- . 日韓経済人会議
- . 日韓新産業貿易会議
- . 青少年交流事業（高校生交流キャンプ、学生未来会議）
- . 日韓経済シンポジウム
- . 調査・広報活動

平成 20 年 6 月 11 日（水）

社団法人 日韓経済協会

．日韓経済人会議

1．会議開催の概要

- 1) 主催：日韓経済協会、韓日経済協会
- 2) 日程：2008年5月15日(木)～16日(金)
- 3) 開催都市：千葉県浦安市舞浜
- 4) 会場：シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル
- 5) 参加者：日韓の経済人約300名参加

2．第40回日韓経済人会議

A．第40回大会記念行事

- (1) 日本国福田総理大臣及び韓国李明博大統領からのメッセージ
 - (2) 両国来賓挨拶
日本：木村仁・外務副大臣、中富道隆・経済産業省大臣官房審議官(経済産業大臣挨拶代読)、堂本暁子・千葉県知事
韓国：権哲賢・駐日本国大韓民国特命全権大使
 - (3) 記念講演
日本：西室泰三・日本経済団体連合会評議員会議長
(株)東京証券取引所グループ取締役会長兼代表執行役、(株)東芝 相談役)
韓国：李熙範・(社)韓国貿易協会会長(元 産業資源部長官)
 - (4) 功労者表彰(両協会の活動に指導的役割を果たし功労のある方)
日本：瀬戸雄三・日韓経済協会名誉会長
韓国：金相廈・韓日経済協会名誉会長
- B．全体会議第一セッション：テーマ「日韓の技術競争力強化と経済連携」
全体会議第二セッション：テーマ「日韓の均衡ある貿易拡大に向けて」

3．第41回日韓経済人会議

2009年に韓国で開催(開催日及び開催都市は未定)

．日韓新産業貿易会議

1．2007年度テーマのまとめと報告

1 .2007年度「少子化と企業経営」 専門委報告書作成・・・日本側	資格共通化(相互簡易取得化)、女性活用推進策に関し報告書を作成の上、5月経済人会議で報告。
---------------------------------------	---

2. 2007 年度「韓日企業間協力」 専門委報告書作成・・・韓国側	中小企業間協力等に関する報告書を作成の上、 5 月経済人会議で報告。
---------------------------------------	---------------------------------------

2. 日韓新産業貿易会議の 2008 年度新テーマと計画

<p>2008 年度「投資専門委員会」の設置・運営・・・日韓合同</p> <p>(第 40 回日韓経済人会議に提案し、承認を得た。)</p>	<p>「投資専門委員会」を設置し、両国間投資の拡大に向けて隘路事項を含め、現状と対策について検討する。日韓経済界の間で設けられる投資・貿易拡大のための協議機関とタイアップして検討する委員会である。</p> <p>更に、専門委員会の上部組織である「新産業貿易会議」(2008 年度は韓国開催)の審議を経て、第 41 回日韓経済人会議(2009 年開催)に報告する。</p>
--	---

青少年交流事業(高校生交流キャンプ、学生未来会議)

1. 「日韓高校生交流キャンプ」継続実施

- (1) これまで 4 年間に 10 回開催して累計 919 人が参加した。両国青少年の交流・育成の実を挙げ、参加者、高等学校、マスコミ等からも高い評価を得ている。
- (2) これまで主に 4 社からの協賛金によって運営してきたが、2008 年度からは、政府の「21 世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、基本的には国家予算(次項の学生未来会議と合せて 38,000 千円)での運営に切り替える。更に、積極的に優秀学生の参加を促進し、交流の輪を拡げ内容を充実させる。
- (3) 第 11 回を 2008 年 8 月 3 日～7 日に東京で開催する。第 12 回は 2009 年 2 月に韓国で開催の予定。

2. 「日韓学生未来会議」の開催

- (1) キャンプ参加学生が自主的に OB 会を結成し、様々な課題について意見交換する「日韓学生未来会議」をこれまでに 2 回開催している。
- (2) 高校生交流キャンプと同様に「21 世紀東アジア青少年大交流計画」の一環としての支援を受け、上記「日韓学生未来会議」の活動を全面的に当協会が補助し、内容を充実させて行きたい。

．日韓経済シンポジウム

第 2 回日韓経済シンポジウム

- (1) 昨年 10 月に、日韓の経済交流を始め両国の更なる緊密な関係の構築を目指し、初めての試みとして、「第 1 回日韓経済シンポジウム」を開催した。
- (2) 上記の第 1 回シンポジウムの経験を踏まえ、本年 10 月 22 日に、第 2 回シンポジウムを開催する（於：経団連会館・国際会議場）。
- (3) テーマおよび講師は現在検討中。

V . 調査・広報活動

会員サービス強化のため、以下の活動を推進する。

A . 情報の収集・提供

1 . 協会報の発行

会員のニーズを踏まえ、韓国の景気動向、経済動向等の情報をタイムリーに提供するなど内容の充実強化を図っていきたい。

2 . 週報の発信

韓国の新聞から経済関係記事をピックアップし E メールでタイムリーに提供。

3 . J K E レポートの発行

会員の参考になると思われる韓国経済に関するデータや文献を編集・配布。

4 . 情報の収集・管理

韓国の経済・産業に関する資料、情報の収集・管理の充実と整備。

B . 会員懇話会（日韓ビジネス懇話会）の開催

韓国経済の現況、日韓間の経済交流強化、企業間連携の具体的事例等のテーマについて専門家に発表してもらい、会員に役立つようにしたい。そのためには、産業界、官界、学会等から、特に普段話を聞きにくい講師を招いて、自由な意見交換を可能にする場を提供したい。2008 年度は年間 6 回（昨年度までは 2 回、2007 年度は 4 回）開催し、会員の強いご要望に応えていきたい。

C . 協会ホームページの充実

協会の広報の手段として、協会ホームページを充実させる。事業予告、事業実績、調査結果等の報告を中心に、速報性・正確性・読み易さを心掛けて編集。アクセス数は増加傾向にある（昨年 2 万件 最近 3 万件 / 月）。メルマガも検討中。